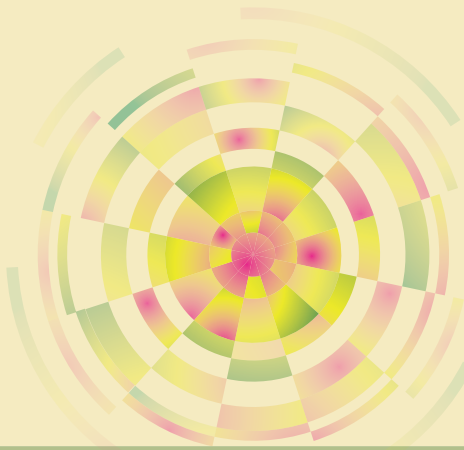
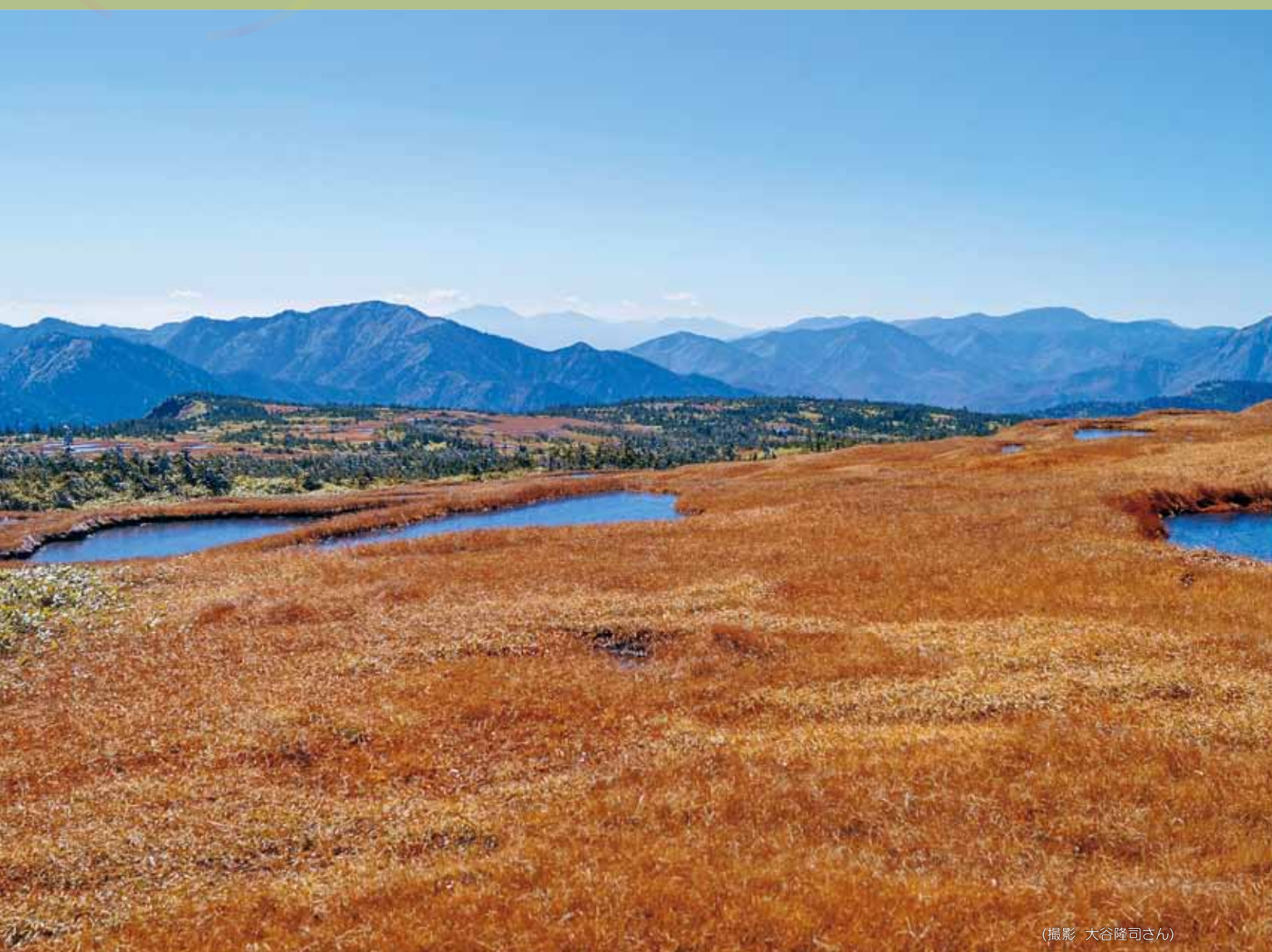




和'S YAMATO

(わずやまと)

秋号 2016



(撮影 大谷隆司さん)

広大な湿原が魅力の苗場山山頂

苗場山は新潟県南部、長野県北東部の県境にそびえる火山で、標高2,145m

—特集「真田丸」—

- ◎ 昌幸・幸村は高野山へ配流となる
- ◎ 山上の聖地・高野山
- ◎ 豊臣と徳川 天下平定の主役争い

—お客様紹介—

- ◎ 医療法人愛広会 様
- ◎ 那須りんどう湖レイクビュー 様

名瀑探訪 線ヶ滝



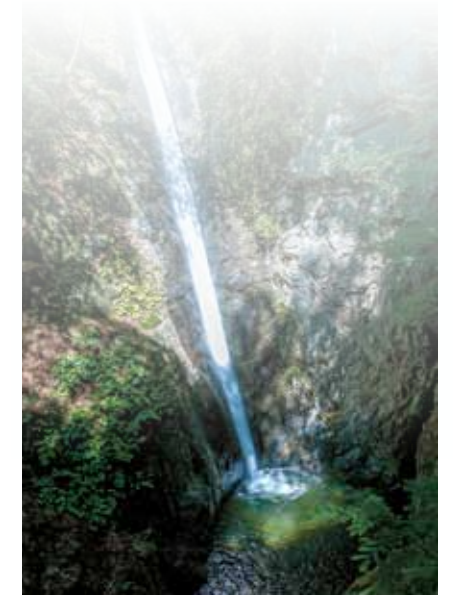
名瀑探訪

線ヶ滝

SENGATAKI

(群馬県南牧村)

線ヶ滝は、南牧川の支流、星尾川の断崖にかかる滝で、滝の形状をつくる直立した岩壁やその附近の地層は、秩父中新生層の代表的な岩石の一種から成り立っています。滝の落差は約35m余りで、黒灰色の岩壁を白い一条の直線を描いて落下します。この滝から流れ落ちる水は、四季を通して途絶えることがありません。滝壺は小さいながら、力強い水の流れを受け止め、その激しい水音は滝の豪快さを印象づけています。さらに、滝壺から狭い岩の間を通り抜ける水流により、下流からも激しい水音が鳴り響き、迫力十分です。遊歩道入口からは約2分で滝が見え始め、螺旋階段を下り滝壺からでも身近に見ることができます。



和'S YAMATO

(わずやまと)

秋号(第30号) 2016

『和's YAMATO』の由来

ヤマトの漢字の「和」、Water & Airの頭文字を合わせて「WA」、「S」はスタート。ヤマトが発信するメッセージです。

株式会社ヤマト情報誌

和's YAMATO 2016 秋号 / 2016年9月発行

発行: 株式会社ヤマト(広報室) 群馬県前橋市古市町118 TEL.027-290-1891 FAX.027-290-1896

群馬県前橋市古市町118 〒371-0844 TEL.027-290-1800(代) FAX.027-290-1896

支店 / 東京、埼玉、栃木、横浜、千葉、高崎、東北

営業所 / 軽井沢、伊勢崎、神奈川県央、茨城、太田、東松山、新潟、長野、渋川、川口、多摩、横須賀、滋賀

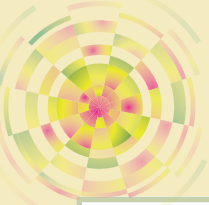
附属施設 / 大和環境技術研究所、大和分析センター、加工センター、

朝倉工場、サポートセンター、教育センター、コンタクトセンター

ヤマトホームページ www.yamato-se.co.jp/

株式会社 ヤマト





九度山町



大阪のなんば駅から約1時間で九度山駅に着く。



雷封じの井(真田庵内)
慶長年間、幸村が蟄居中、真田屋敷に落ちた雷をとりおさえてこの井戸に封じ、里人の難を救ったという伝説が残っている。



真田古墳 (真田抜け穴伝説)

真田庵から東へ約170mほどのところにある史跡。「真田の抜け穴」とも呼ばれ、「この穴の向こうは大坂城に続いており、かつて真田幸村はこの抜け穴を使って戦場へ出向いた」という伝説が残る。実際は、古墳時代後期(4世紀頃)の古墳であるが、真田の伝説が残る場所として「真田古墳」と名付けられた。



真田いこい茶屋

地元のボランティアグループが運営する施設。九度山町にちなんだ真田幸村のグッズや、町の物産を販売する。



旧萱野家の門 (大石順教尼の記念館)

旧萱野家は、江戸時代中期に高野山真蔵院の里坊(不動院)として建立され、明治時代まで続いた建物。両腕を失い口で絵筆を使う尼僧で画家の大石順教尼が当家にしばしば滞在した縁で、大石尼の作品が展示されている。



そば処 幸村庵

九度山町の姉妹都市である長野県上田市で修行した職人が持つ真田そば。真田庵の隣にあり、賑わいをみせている。



九度山 真田ミュージアム

昌幸、幸村、大助の真田三代の軌跡と九度山での生活を紹介。大河ドラマ展では、出演者のパネルなどを展示している。



対面石

弘法大師が幼少の頃から深い信仰心を持っていたことを現代に伝える由緒ある石。



真田庵 (和歌山県九度山町)

真田幸村父子の屋敷跡に建てられた寺。正式名称は善名称院。



真田庵の長屋門

絵馬やおみくじ、真田関連の書などが飾られている。

NHK大河ドラマ 『真田丸』 戦国時代の荒波をかいぐる真田丸

2016年NHK大河ドラマ「真田丸」は、乱世の戦国時代を生き延びていくために、強大な武将と渡り合い、奇策で翻弄しながら家督を守り通した真田氏の物語です。大阪の陣では、戦国時代最強の砦といわれる「真田丸」を作り上げ、徳川家康を窮地に追い込む劇的な戦を実践しました。「真田丸」とは、真田一族の命運を託した小舟にもたとえることができます。



真田庵の全景



真田庵の門には六文銭の装飾

瓦などには真田氏の旗印である六文銭が描かれている。



真田昌幸画像 (真田地域自治センター蔵)



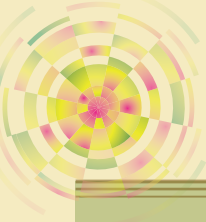
真田幸村(信繁)画像

昌幸・幸村は高野山に配流となる

真田昌幸・幸村(信繁)父子は、関ヶ原の戦いに向かう途中の徳川秀忠(家康の三男・二代將軍)軍・三万八千人を上田城で足止めし、秀忠を関ヶ原合戦に遅参させるという豊臣方にとって大きな功績をあげた。家康にとっては屈辱的な上田での二度目の敗戦となり、関ヶ原合戦で豊臣方が敗れたため、昌幸・幸村父子は死罪を免れない状況にあった。真田信之(信幸)は自分への恩賞を辞退するのと引き換えに、父と弟の命を助けてもらいたいと懇願した。家康は真田親子に二度までも面子をつぶされたため、申し入れは拒絶していたものの、信之が私を先に切腹に処してほしいとまで言い募り、信之の正室(小松姫)の父・本多忠勝(徳川四天王の一人)の口添えもあり、死罪で

はなく高野山への配流を命じたのだった。

慶長五年(一六〇〇)十二月、昌幸と幸村は高野山に向かつて上田を発ち、高野山内の蓮華定院に滞在した。上田から昌幸に従った側近の家臣は十六人、幸村は妻子のみが同行した。高野山は、遺骨の分骨・髪・爪などを納めることにより、弘法大師様のご加護に預かれると信仰され、昌幸は以前から蓮華定院を真田家の宿坊と定めていたのだった。また、高野山は死罪を免れた者が一時的に追放される場所でもあり、ほどなくして昌幸・幸村は高野山に隣接する里・九度山で幕府の監視下に置かれ幽居の身となった。昌幸は九度山から下山する望みを抱き続け、家康からの赦免を心待ちにしていた。



真田紐は鎧兜の織糸にも使われています(写真は真田昌幸所用具足 上田市立博物館提供)

ファッション性を加味した真田紐



真田幸村(信繁)と、その父・昌幸が、「強く丈夫な紐」として武器・甲冑などに用いたところから「真田紐」と名付けられたと伝えられています。一般的に、組み紐の製造では「組む」と表現しますが、真田紐は「織る」といいます。真田紐は縦糸と横糸で織りあげて作り上げます。そのため引っ張っても伸びることがなく、結びなおしにも強い、張りのある丈夫な紐に仕上がります。また織物ならではの印象的な織柄が、紐の表裏に表現されるので、独特の美しさがあります。江戸時代では、刀の下げ緒、たすき、行商の荷紐、男性用の帯などに使われていました。上質な糸を用いて丁寧に織り上げた真田紐は、柄、艶、風合いとも、独特で美しく、その物自体が伝統工芸品として貴重なものといえます。現在には主に、美術品や陶器・茶器入れなどの伝統工芸品を入れる桐箱の装飾結び紐として使用されています。最近では、締めやすく扱いやすい特徴を活かし、女性が帯締めとして使うケースや、草履の鼻緒、バッグの持ち手といった使い方もされるようになり、そのファッション性が注目されています。

九度山の名産 真田紐



大坂城



210月10日到着



幸村(信繁)が大阪城に向けて出発したのは慶長19年10月9日で、翌日には到着したと思われる。この間に領地を管理する浅野家が行く手を阻むことはできなかったのか。もしくは、あえて幸村を見送ったのか。いずれにしても、100人を超える部隊が動くのだから、地元住民の協力や黙認がなければ、大阪城にたどりつくのは困難であったといえよう。

幸村は九度山を脱出し大坂城へと向かう

慶長十九年七月、徳川家康は豊臣家の影響力を完全に排除するため、大坂城の攻略に着手する。豊臣家は徳川家に対抗するため全国から関ヶ原の戦いで敗れ浪人している武将に参集を呼びかけ、当然、幸村にも秀頼の使者が参戦を要請した。九度山に蟄居して十四年、このまま父と同様に浮かばれぬままこの山里で人生を終えるのかと諦観しかかった時、大坂方の入城要請は計り知れない朗報だった。

幸村には、支度金として黄金二百枚、銀三十貫目が用意された。現在の貨幣価値で3〜4億円に匹敵し、幸村は必要な武器を整えた。九度山では厳しい監視下に置かれていたわけではなかったが、里を離れるとなると監視の目を欺かなくてはならない。幸村が九度山を脱出でき

真田宝物資料館(真田庵)の展示物



幸村が使用した弁当箱



六文銭印入りの陣幕



幸村自筆の書



幸村が大阪夏の陣で使用した槍



幸村自作の木彫りの犬



真田氏で使用されていた望遠鏡

九度山では質素な生活

真田父子の九度山での生活は、自身に収入がないために他からの援助に頼るほかはなかった。紀伊藩からの年50石の差し入れと、国元(上田)からの仕送りでもかかってはいたが、経済的には困窮していたという。

日々の生活は苦しかったが、屋敷周辺の行動は比較的自由だったらしい。伝説では、昌幸らが真田紐を編んで生活の足しにしていたと言われている。真田家の家臣が真田紐を行商しながら諸国の情勢を探っていたとも言われている。また、昌幸は来るべき日に備え、武技を練り、再起に備えたとする説もあるが、いずれも伝説の域を出ない。昌幸はひたすら赦免されることに望みを託しながらも、その願いがなかなか叶わず、かなり老け込んでいたようである。

真田庵にある幸村が昌幸を供養するために植えた松の木



昌幸の死

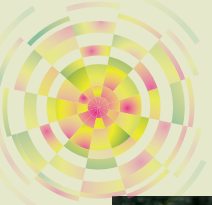
昌幸は、配流当初は信之を通じて赦免を働きかけていたが、一向に下山の沙汰が無いまま、寄る年波と病氣から、慶長十六年(二六一一)に真田庵で没した。蟄居から十一年、失意の中での最期だった。昌幸に随行してきた家臣のほとんどは国元へ帰っていった。九度山には現在でも昌幸が葬られた真田庵がたたずんでおり、往時の面影を残している。九度山の真田屋敷はひっそりと静まり返っていた。



昌幸の墓と幸村の供養塔



真田地主大権現(真田庵)
真田地主大権現、真田昌幸を大権現として祀った社。昌幸の墓と幸村の供養塔もある(左の写真)。



慈尊院 空海が高野山で使う物資を調達・保管するための機関として設置した。「慈尊」とは弥勒菩薩のことで、弥勒菩薩座像は国宝に指定されている。昌幸と幸村が幽居した九度山にある。



高野山根本大塔 壇上伽藍の境内にある真言密教のシンボル。(金剛峯寺から徒歩約10分)



蓮華定院 関ヶ原の戦いに敗れ、蟄居を命じられた真田昌幸・幸村父子が滞在した真田家の菩提寺。随所に真田家の家紋・六文銭が見られる。



高野山 徳川家霊台 家康霊屋。蓮華浄院に隣接している。(金剛峯寺から徒歩約10分)

「奥の院」

奥の院には、墓石群のほか慰霊碑や供養塔なども数多くあり、民族や宗教の違いに関わらず全てを受け入れる寛容さは、高野山が1200年継承してきた精神であり、その魅力となっている。(金剛峯寺からバス約10分)



高野山 奥の院 織田信長墓所



高野山 奥の院 豊臣家の墓所

空海が開いた天空の都市



高野山 金剛峯寺

高野山は弘仁七年(八一六)、弘法大師(空海)によって開山された真言密教の根本道場で、平安時代末期からは山中に隠遁して念仏三昧の生活を送る者や、諸国をめぐる高野聖の勧進活動が盛んになるにつれ、全国的に弘法大師信仰が拡大していった。室町時代末期には寺領十七万石、僧兵数万人の大勢力となり、俗世の法規範とは無縁の場所として、参詣、建碑、納骨が急増、戦国時代になっても敗軍の将や追放大名などが幽居したのである。また、戦国大名は領内の菩提所が敵に荒らされる不安を常に抱えており、世俗から隔絶した高野山に菩提所を持つことが心の平安を保つことにつながった。こうした理由から、時の権力者であっても高野山に菩提所を持つことが慣例となっていた。



金剛峯寺の門

標高およそ985mの盆地に総本山金剛峯寺や根本大塔などの様々なお堂や塔などが並び「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録されている。山内は「奥の院」と「壇上伽藍」を二大聖地とし、今も人々の信仰を集めている。



金剛峯寺の石庭 日本最大級の規模を誇る。





大坂城の周囲は約13km、総面積は100万坪にも達したという

約に基づき、七歳の千姫を大坂城へ嫁がせた。また、慶長九年八月には秀吉の七回忌に際して秀頼とともに豊国神社臨時祭を挙行している。秀頼の生母・淀殿は、秀頼と千姫の結婚を、秀頼が成人した時に家康が將軍職を秀頼に譲るためと解釈し、豊国神社での祭典開催では豊臣家への忠心の現れと受け取り、家康への警戒心をゆるめることとなる。しかし、この態度は、恭順したかにみせかけた後、相手を窮地に追い込んでいく家康の老獪な策略だった。

慶長十年二月、家康は秀忠に征夷大將軍の官職を譲り、將軍宣下の儀式を伏見城で盛大に催し、徳川政権の威光を示した。徳川家による將軍職の世襲に対し、諸大名のあからさまな反発は無かったが、秀頼は相変わらず大坂城に君臨していた。秀頼は関ヶ原の戦い以降、徳川家に対して臣下の礼を取ることもなく自立し、秀忠の將軍就任に際して催された様々な祝賀儀式には参列せず、家康からの上洛要請には応じなかった。家康の將軍讓位の狙いは、秀頼と淀殿に天下取りへの望みをあきらめさせ、秀頼を臣従させることであつた。

秀頼は、家康からの再三にわたる上洛要請を断り続けられ処罰されかねない状況に追い込まれ、慶長十六年三月、二条城で家康と会見する。家康は会見で秀頼に粗相があれば、それを口実に秀頼の責任を追及し処罰しようと目論んでいたという。しかし、会見は豊臣家家老の片桐且元や大野治長ら約三十人が陪席し、この場では問題が

起きなかった。

家康は、且元を籠絡し、秀吉処罰の口実を作ろうと画策した。且元は三成が亡くなったあとの豊臣家重臣として大坂城での政務を担ったが、家康は関ヶ原の戦い以後、且元を支援し、目をかけていた。慶長十九年七月、家康は「方広寺鐘銘事件」(下記写真説明を参照)で且元を翻弄し、豊臣家の内部分裂を図る。

且元は同事件の釈明をするため家康のいる駿府に赴くが、家康に接見することはできず、釈明することができなかった。しかし、且元の後、秀頼の側近・大野治長の母で淀殿付の大蔵卿の局らが淀殿の意を受け家康を訪ねた際には、且元に対する対応とは反対に、大蔵卿の局らを厚遇し、同事件には触れなかったという。

且元に対しては厳しく問題の解決を迫り、大蔵卿の局に対しては問題には触れず歓待するという異なった対応をし、豊臣家中の動揺を誘う策略だった。



方広寺の鐘



鐘の碑文に刻まれた「国家安康」と「君臣豊楽」

方広寺鐘銘事件

「国家安康」という句は家康の名を切ったものであり、「君臣豊楽、子孫殷昌」は豊臣を君として子孫の殷昌を樂しむ、と解釈し、徳川を呪詛して豊臣の繁栄を願うものだとし、家康は激怒した



豊臣秀頼像(玉造稲荷神社)



徳川家康像



伝淀殿画像 奈良県立美術館所蔵

川政権樹立の機会を伺っていたのである。

先述した通り、家康は慶長八年二月に征夷大將軍に任じられ、伏見城で任官の儀式が執行された。これによって家康は幕府を開く資格を得ることができたが、それでも秀頼に配慮せざるを得なかった。同年七月、家康は秀吉と生前から約束していた孫娘の千姫と秀頼との婚

関ヶ原の合戦とは、豊臣家家臣の徳川家康と石田三成の家臣同士之争いだった。豊臣家を守る家臣としての自覚と実力を持つ三成は、豊臣政権を脅かす家康を打倒するため全国の大名に決起を促し、関ヶ原の戦いで家康と激突したが、家康の前に敗れる。家康は独自の政権を樹立する野心を持っていたものの、関ヶ原の戦いで勝利したことによって豊臣家から政権を奪うこと

は、諸大名の納得が得られないばかりか、反感を買うことになる。家康は豊臣秀頼の後見役であり、豊臣政権の代行という立場をわきまえて行動していた。関ヶ原から二年後の慶長七年(一六〇二)、家康は大坂城の秀頼に参賀の出仕をしている。諸大名や公家たちも、家康より先に秀頼へ参賀の出仕を行っていた。官位を受ける朝廷は、秀頼は別格と位置づけ、家康の息子の秀忠

に先がけて、秀頼を昇進させていた。慶長六年の中納言から大納言への昇進でも秀頼が先に叙せられている。また、慶長八年に家康が征夷大將軍に任官し内大臣から右大臣に任じられると、秀頼も大納言から内大臣に昇せられている。さらに、秀頼は戦乱の世で傷ついた寺社の堂塔や社殿の復興に多額の寄付を行い、民衆からの人気も高かった。家康は秀頼に配慮しながら、徳

「豊臣と徳川」 天下平定の主導権争い

家康は徳川將軍家を確立するも、豊臣家の威光は衰えず。
江戸の徳川家、大坂の豊臣家と権力の二重構造が出現。



ビル群のなかに見える大坂城天守閣



新潟リハビリテーション病院(左奥) メディカルフィットネスロコパーク(中央) 尾山愛広苑(右)



尾山愛広苑外観



空冷ヒートポンプチャラー

医療法人愛広会様は、人々の幸福と豊かさを実現するため、社会のニーズに合った医療福祉・保健の有機的サービスを実践し、地域社会・国家・国際社会の発展に寄与することを基本理念とし、病院、介護老人保健施設や有料老人ホームを運営しています。

介護老人保健施設 尾山愛広苑様は、新潟リハビリテーション病院に併設し、入所者の自立と在宅復帰を支援するため、様々なリハビリのニーズに対応しています。また、退所者・自宅療養者の在宅介護生活を支援する「訪問介護」や「訪問看護」のほか、認知症対応型生活共同介護「グループホームおやま」や小規模多機能型居宅介護などの介護サービス事業所も隣接しており、地域の皆さまをあらゆる場面でサポートできる体制を整え、幅広くサービスを提供しています。

お客様の
声

医療法人愛広会 常務理事
村山浩太郎 様

尾山愛広苑では空調の更新工事として第一期で蓄熱システム、第二期でエコキュートを導入し、地下のオイルタンクを廃止した。エネルギー源としての油は、価格変動が大きく、施設の安定的な経営の不安要素になるので、電気にシフトすることが課題だった。ヤマトさんのシステムを導入したことにより、エネルギーコストの削減が達成でき、改正省エネ法の要求事項を満たす結果となった。当初の目論見どおりで大変満足している。

空調の更新にあたっては、経済面よりも、工事中の施設運営への影響を最小限に抑えることができるかどうかが大きい問題ととらえている。お湯が使えない期間をいかに短くするかといったことだ。この点でも、ヤマトさんには最善を尽くしていただき、感謝している。また、機器の配置のご提案では、給湯熱源機を屋上に上げていただき、駐車スペースをつぶすことなく施工できたという点が大きい。こうした配慮をできるヤマトさんの対応は素晴らしく、満足のいく結果となった。

水の公園 福島潟

自然の風景を堪能できる貴重な湖

福島潟は新潟市の東方に位置する湖沼です。面積は262haと広大で、新潟県では最大規模の湖です。五頭連峰を映す湖面と鳥や花や人が一体となつて織りなす四季折々の新潟の原風景を今に残しています。

この自然は「日本の自然百選」にいがた景勝百選「遊歩百選」などに選ばれています。福島潟はオオヒシクイやオニバスをはじめとして貴重な動植物が数多く生息しており、全国でも有数の自然豊かな場所として親しまれています。

尾山愛広苑様周辺マップ



園内図



菜の花畑を散策できます



福島潟の遠景

新潟県新潟市

施設概要

施設名称 介護老人保健施設 尾山愛広苑
所在地 新潟県新潟市北区木崎754
建物概要 鉄骨造2階建
延床面積 4,055㎡
施設規模 入所定員100名
通所定員35名
施設開設 1996年4月
更新竣工 2014年9月

システム概要

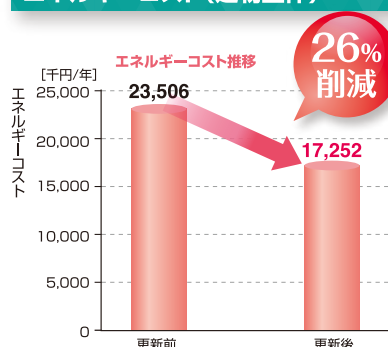
空調熱源 高効率大温度差蓄熱空調システム
空冷ヒートポンプチャラー
50馬力×4
(新リハビリ棟2,140㎡含む)
蓄熱槽 温度成層型水蓄熱槽 2000㎡
給湯熱源 自然冷媒ヒートポンプ給湯システム
20馬力×3基
貯湯槽 5㎡×1基(既存)
6㎡×1基(新設)
遠隔監視 ヤマトTASKPLUS



自然冷媒ヒートポンプ給湯システム

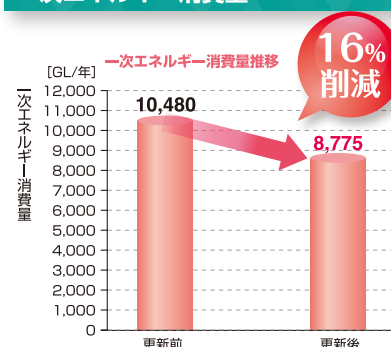
更新後の導入効果

エネルギーコスト(建物全体)



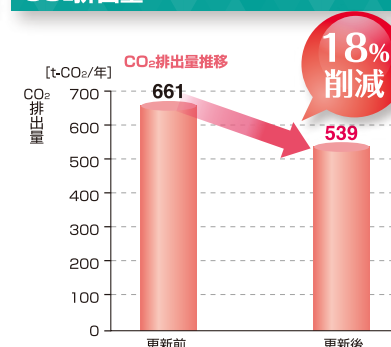
更新前の値は平成21年7月～平成22年6月のエネルギー使用量を基に平成26年6月現在の料金単価に換算しています。更新後の値は平成25年7月～平成26年6月のエネルギー使用量を基に平成26年6月現在の料金単価に換算しています。

一次エネルギー消費量



一次エネルギーの算出には以下の数値を使用しています。
都市ガス 42.0MJ/Nm³、電気(昼) 9.97MJ/kWh、電気(夜) 9.28MJ/kWh

CO₂排出量



CO₂の算出には以下の数値を使用しています。
都市ガス 2.12kg-CO₂/Nm³、電気 0.560kg-CO₂/kWh

那須りんどう湖レイクビュー様

(株)ヤマトは、那須りんどう湖レイクビュー様の新施設「那須の恵みMeKKe」の建築、空調衛生、電気工事全般を丸ごと施工し、2016年7月に工事を完了しました。那須りんどう湖レイクビュー様の特色をご紹介します。

食の複合施設 那須の恵み MeKKe! が7月にオープン

那須りんどう湖レイクビュー内に、遊覧船をモチーフにした展望デッキを備えた食の複合施設「那須の恵みMeKKe(めつけ)ブッフェ&マルシェ」がオープンしました。

「驚き」をテーマにしたブッフェレストランでは、那須高原の新鮮な食材をふんだんに使った旬のメニューを、経験豊富な料理人が丁寧に作ります。溶岩石仕様の「武蔵窯グリル」でジューシーに焼き上げるステーキがおすすめで、地場産野菜も香ばしく焼き上げます。

「育み」をテーマにしたマルシェ(市場)のファーマーズマーケットでは、那須高原で育った牛から搾った、自家製ジャージー牛乳や乳製品スイーツをはじめ、採って間もない地場の新鮮野菜、地元栃木産小麦粉を使いスベイン窯で焼き上げた石窯パンや熱々のピザ、ドイツの伝統的なソーセージヘヴルストンなどを販売しています。

お客様の声



レイクビューを運営する
那須興業株式会社社長(右から4番目)

この度は「那須の恵みMeKKe」建設施工に際し正確緻密そして短期間の完成を頂きましてありがとうございます。これもひとえに御社のコンセプトが反映していると感じました。この度の新施設テーマ「驚き」そして湖に面し遊覧船をモチーフしたウッドデッキと景観、そして店内もお客様から素敵なお店ですね！のお言葉を頂き料理のおいしさにプラスされ大変喜ばれておりますので、是非お立ち寄りください。

栃木県那須郡那須町

営業時間
ブッフェレストラン営業時間
11時～20時(土日祝日最終受付18時30分、平日18時)
ファーマーズマーケット営業時間
9時～20時(営業時間は季節により変動あり、MeKKeは那須りんどう湖レイクビューに入園せずに利用できます)

施設概要
住所 〒325-0037 栃木県那須郡那須町高久内4-14-2
URL <http://www.rindou.co.jp>
入園料 大人1600円・小人800円(小学生以下500円)
駐車料金 無料
定休日 平成28年11月まで無休(冬期不定)

交通

東北道那須ICから車で10分



りんどう湖の湖面からの眺め

那須高原牧場パーク

那須りんどう湖レイクビュー

那須りんどう湖レイクビューは、りんどう湖を中心に、約30万㎡の広さを誇るレジャーランドです。乗物、動物、食事、買物と、大人から子供まで楽しめる施設です。園内施設の一部をご紹介します。

ふれあい動物園

ちびっこ牧場、牧舎、乗馬コース、ちちしばり会場等があり、たくさん動物とふれあえます。

ジャージー牛



アルパカ

カピバラ

ジップライン

湖上をワイヤーで滑空する「ジップライン-KAKKU」。片道220mは日本最長クラス、湖上滑空は世界初！



ジップライン-KAKKU

スイス鉄道

園内の移動にご利用ください。



スイス鉄道

遊覧船

湖上から雄大な那須連峰などの景色を満喫できます。



遊覧船

りんどう湖トライデントイルミネーション

「Lake of Fairies 夜に目覚める妖精の王国」

開催日：土曜・日曜・祝日

湖をフルに活用したイルミネーションでは、湖面反射で揺らめく光がとても幻想的です。また、30m級の大規模な噴水を活用した「トライデントイルミネーション」で壮大な演出もお楽しみいただけます。湖畔から眺めるだけでなく、湖上からトライデントイルミネーションや、湖面反射をすぐ目の前でご覧いただけます。「ナイトクルーズ」もお勧めです。

湖畔の400mを駆け抜ける「スターダストイルミネーション」

遊覧船もライトアップされます



りんどう湖トライデントイルミネーション



りんどう湖に浮かぶ湖の妖精の王国「フェアリーキングダム」



解放感あふれるマルシェ



船がモチーフのブッフェ台



明るい雰囲気のレストラン内部